

司会・座長・講師・演者へのご案内

1. 司会・座長・講師・演者の皆様へ（共通のご案内）WEB 現地

・講演時間

講演時間は以下のとおりとなっております。時間厳守をお願いします。

【指定演題・受賞演題】

セッションにより発表時間が異なります。別途ご連絡しました内容をご確認ください。

【学術奨励賞選考セッション・活性化委員会推薦演題】

発表7分、質疑応答3分（1題計10分以内）

【一般演題（口演）・研修医セッション・学生セッション】

発表7分、質疑応答3分（1題計10分以内）

【一般演題（Short Presentations）】

現地でのポスター掲示及び口頭発表なし。オンデマンド配信

2. WEB参加：司会・座長の皆様へ WEB

・進行管理 WEB

WEBにてご担当／ご発表の先生方におかれましては、ご自身で時間管理をお願いします。

講演時間終了1分前には、卓上ベルの音を2回鳴らします。

※講演時間を超過した場合、司会・座長の判断で、配信音声を一時的にOFF

とさせていただきます。予めご了承ください。



卓上ベル

・WEBでのご担当方法につきましては、事前にお送りしますマニュアルをご確認の上、ご参加ください。

・担当セッションの各演者の講演時間を予めご確認の上、定刻通りの進行をお願いします。

3. 現地参加：司会・座長の皆様へ 現地

・進行管理 現地

進行管理のため、現地会場には座長席・演台に計時回線を設置します。下記の通りランプと時間が表示されますのでご確認ください。

緑ランプ（カウントダウン）：講演時間

黄ランプ（カウントダウン）：講演終了1分前

赤ランプ（カウントアップ）：講演終了・質疑応答※質疑応答時間はカウントアップのため定刻になりましたら終了してください。

・担当セッション開始15分前までに各会場内右手最前列の次座長席にお越しください。

・担当セッションの各演者の講演時間を予めご確認の上、定刻通りの進行をお願いします。

4. WEB参加：講師・演者の皆様へ WEB

・WEBでのご発表方法につきましては、事前にお送りいたしますマニュアルをご確認の上、ご参加ください。

・規定の発表時間をご確認の上、時間厳守でのご発表をお願いします。

5. 現地参加：講師・演者の皆様へ 現地

・各会場内左手最前列に「次演者席」を設けています。ご自身の発表10分前までにご着席ください。

- ・演台の上のキーボード、マウスを各自で操作し、発表してください。(PC本体は、演台上にはありません。)

◆発表データ受付（動作確認）

- ・発表開始45分前までに、PC受付にて発表データの動作確認を行ってください。
(※PC持込みの場合も必ず、事前にPC受付に立ち寄り、動作確認を行ってください。)
翌日分の発表データ受付も可能です。
- 但し、PC受付が混み合った場合、発表の早い演題を優先させていただくことがあります。

PC受付場所・時間

受付場所		11月5日（金）	11月6日（土）	11月7日（日）
第1～第4会場	長良川国際会議場 2F メインホール ロビー	11：00～18：30	7：45～18：00	7：45～15：30
第5～第8会場	都ホテル 岐阜長良川 2F ロビー			

- ・発表データはUSBフラッシュメモリに保存してご持参ください。
- ・データ破損などのトラブルに備え、発表データのバックアップをご用意ください。
- ・データファイル名は【演題番号_氏名】としてください。(例 001_福岡 太郎)
- ・混雑回避のため、PC受付でのデータ修正はできませんのでご了承ください。

◆PC本体持込の際のお願い

- ・Macintoshを使用される方は、必ずPC本体をお持ち込みください。
- ・動画や音声データの使用はお控えください。(視聴者のネット環境によっては正常に再生されない可能性がございます)
※やむを得ず動画や音声データを使用する場合は、必ずPC本体をお持ち込みください。
※動画データ使用の場合は、以下のソフトで再生可能なものに限定します。

Windows：Windows Media Player

- ・発表者ツールは使用できませんので、原稿をご用意ください。
- ・PCの故障などのトラブルに備え、必ずデータのバックアップをご用意ください。
- ・PC本体をお持ち込みになる場合は、PC受付にて動作確認後、セッション開始30分前までにPCをご自身で各会場左手前方のPCオペレーター席へお持ちください。
発表終了後、PCオペレーター席にてPCを返却します。
- ・PC受付にて事前のデータチェックを必ず行ってください。
- ・PCの機種やOSにより映像の外部出力設定方法が異なりますので、お持ち込みのPCが映像の外部出力に対応可能かどうかを事前にご確認ください。
- ・会場で用意するPCケーブルコネクタの形状は、Mini D-sub 15pin（通常のモニター端子）です。
変換コネクタを必要とする場合には必ずご自身でお持ちください。



- ・コンセント用電源アダプタを必ずご持参ください。
バッテリーのみで駆動している場合、トラブルの原因になることがあります。
- ・スクリーンセーバー、ウイルスチェック、並びに省電力設定はあらかじめ解除しておいてください。
解除されていないと発表中にスクリーンセーバー等が作動してしまうことがあります。
- ・再起動が必要になる場合がありますので、パスワード入力はあらかじめ [不要] に設定してください。

6. 講師・演者の皆様へ（共通のご案内）WEB 現地

◆データ作成にあたって

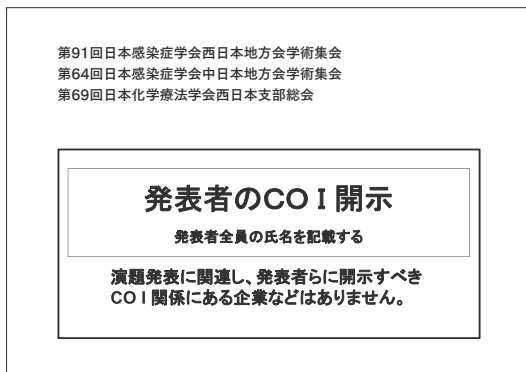
- ・プレゼンテーション作成ソフトは、Windows版PowerPoint（バージョン2003以降）を使用してください。
- ・フォントはOS標準のみご使用ください。
日本語：MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝
英語：Times New Roman、Arial、Arial Black、Century、Century Gothic
※上記以外のバージョン、フォントで作成されたデータは、レイアウト崩れなど表示に不具合が発生することがあります。
- ・スライドサイズは「16：9（ワイド画面）」を推奨します。（「4：3（標準）」サイズの使用も可能ですが、表示面が狭くなりますのでご注意ください）
- ・動画や音声データの使用はお控えください。（視聴者のネット環境によっては正常に再生されない可能性がございます）※やむを得ず動画や音声データを使用する場合は、必ずPC本体をお持ち込みください。
※動画データ使用の場合は、以下のソフトで再生可能なものに限定します。
Windows：Windows Media Player
- ・発表者ツールは使用できませんので、原稿をご用意ください。
- ・画面の解像度はXGA（1024×768）に設定してください。
- ・発表データは、作成に使用したPC以外でも事前に動作確認を行い、文字化け、レイアウト崩れなどが発生せずにデータを読み込めることを必ず確認してください。
- ・データは最新のウイルス駆除ソフトにてチェックをお済ませの上、ご持参ください。
- ・お預かりしたデータは大会終了後、事務局で責任をもって消去します。
- ・不意のアクシデントに備え、必ずバックアップデータをご持参ください。

◆討論

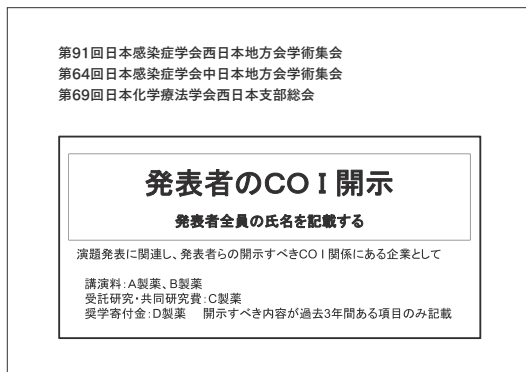
- ・質疑の受付は現地会場のみとなります。（ライブ配信視聴者からの質疑は受付できません）
- ・会場での質疑の際は、司会・座長の許可を受けた上で、必ず所属・氏名を明らかにしてからご発言ください。
- ・その際、質問に対する応答が終わるまでマイクのそばでお待ちください。
- ・追加または質疑応答の発言内容の取捨選択は、司会ならびに座長に一任ください。

◆ご発表の先生方へ

- ・日本感染症学会、日本化学療法学会いずれの発表でも利益相反に関するスライド（以下参照）を発表スライドの1枚目に入れてください。



様式1-A 学術講演会口頭発表時、申告すべきCOI状態がない時



様式2-B 学術講演会口頭発表時、申告すべきCOI状態がある時

COI自己申告の開示基準

COI自己申告に必要な金額は、以下のごとく、各々の開示すべき事項について基準を定めるものとする。

- (1) 医学系研究に関連する企業・法人組織や営利を目的とした団体（以下、企業・組織や団体という）の役員、顧問職については、1つの企業・組織や団体からの報酬額が年間100万円以上とする。
- (2) 株式の保有については、1つの企業についての1年間の株式による利益（配当、売却益の総和）が100万円以上の場合、あるいは当該全株式の5%以上を所有する場合とする。
- (3) 企業・組織や団体からの特許権使用料については、1つの権利使用料が年間100万円以上とする。
- (4) 企業・組織や団体から、会議の出席（発表、助言など）に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当（講演料など）については、1つの企業・団体からの年間の講演料が合計50万円以上とする。
- (5) 企業・組織や団体がパンフレット、座談会記事などの執筆に対して支払った原稿料については、1つの企業・組織や団体からの年間の原稿料が合計50万円以上とする。
- (6) 企業・組織や団体が提供する研究費については、1つの企業・団体から、医学系研究（共同研究、受託研究、治験など）に対して、申告者が実質的に用途を決定し得る研究契約金の総額が年間100万円以上のものを記載する。
- (7) 企業・組織や団体が提供する奨学（奨励）寄附金については、1つの企業・組織や団体から、申告者個人または申告者が所属する講座・分野または研究室に対して、申告者が実質的に用途を決定し得る寄附金の総額が年間100万円以上のものを記載する。
- (8) 企業・組織や団体が提供する寄附講座に申告者らが所属している場合とする。但し、申告者が実質的に用途を決定し得る寄附金の総額が年間100万円以上のものを記載する。
- (9) その他、研究とは直接無関係な旅行、贈答品などの提供については、1つの企業・組織や団体から受けた総額が年間5万円以上とする。

但し、開示基準 (1)「企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職」とは、研究機関に所属する研究者が特定企業の役員、顧問職に就任し、契約により定期的にかつ継続的に従事し報酬を受

け取る場合を意味しており、相手企業からの依頼により単回でのアドバイスなどの提供は開示基準(4)「企業や営利を目的とした団体より、会議の出席(発表、助言)に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演などの報酬」として申告すること。

さらに、(6)、(7)については、すべての申告者は所属する部局(講座、分野)あるいは研究室などへ関係する企業や団体などから研究経費、奨学寄附金などの提供があった場合に申告する必要がある。なお、企業などから提供される研究費・寄付金に係る判断基準額については、申告者が実質的に用途を決定し得る金額を申告すると明確に示した。申告された内容の具体的な開示、公開の方法については所定の様式に従う。

7. Short Presentations発表の先生方へ

一般演題(Short Presentations)は、感染拡大防止のため現地でのポスター掲示及び発表はありません。オンデマンド配信のみとなります。

<スライドデータについて>

PowerPoint 音声付きスライドデータをご提出いただきます。

スライド枚数:6枚以内

発表時間:3分程度

質疑応答:視聴者が発表者へ連絡し直接ご対応いただく形といたします。スライドの最後に、質問受付用のご連絡先(筆頭著者あるいは発表責任者のメールアドレスなど)のご記載をお願い致します。

<スライドデータ提出方法>

事前にご案内致しますアップロードシステムより、スライドデータをご提出ください。

8. 講演の抄録(後抄録)提出

1) 一般演題は、いずれも800字以内(演題名、演者所属、氏名を含む)の抄録の提出をお願いします。

2) 後抄録は会議後に以下の要領にてご提出願います。

- ・必ず会期終了後1週間以内にご提出ください。
- ・文書ファイルをE-mailに添付し、学会事務局へ送信してください。
- ・文書ファイルはMicrosoft Wordにて作成し、テキスト形式としてください。

日本感染症学会への発表者:info@kansensho.or.jp

日本化学療法学会への発表者:karyo@jc4.so-net.ne.jp